

山形県公立大学法人 教育振興会会報

令和5年度 No.1

(通巻第177号)

令和5年8月20日発行

〈発行所〉

山形県公立大学法人 教育振興会

〒992-0025 山形県米沢市通町6-15-1

電話 0238(22)7330(代)

FAX 0238(22)7333

〈印刷所〉株式会社 川島印刷

学生食堂の窓より



NHK大学セミナー



上杉祭り薙刀隊として出陣



ごあいさつ

山形県公立大学法人
教育振興会 会長

吉野 祐治



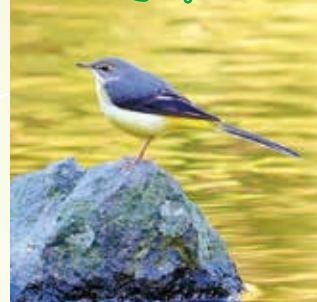
令和五年度米沢女子短期大学並びに米沢栄養大学にご入学の皆様そして保護者の皆様、この度はご入学おめでとうございます。

私は、本年度教育振興会会長を務めさせていただきます吉野祐治と申します。もとよりその器ではございませんが、仰せつかりました以上、本学そして本学学生のために精一杯務めさせていただきますと思いますので、ご支援ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様も、新型コロナウイルス感染症による影響や社会情勢の変化などにより、心身ともに疲弊し、思い描いたような活動が出来ない状況にあったと思います。しかしながら、本年五月に「五類感染症」の位置づけとなったこともあり、日常を取り戻しつつあります。今までに、変更や中止になった行事もあったかと思いますが、また、コミュニケーションや活動の制約もあったかと思いますが、このような状況下であったからこそ気付いたこともあったのではないのでしょうか。その気付きも踏まえて、勉学とともに「学生時代の学び、経験、頑張った事」にして頂けたらと存じます。

本会は、大学と家庭が連携して教育振興を図る組織です。学びや課外活動の充実、本学の理念実現を図るべく、各種活動支援や施設整備支援等を通じて、協働してまいります。保護者の皆様におかれましては、ご理解を賜りご協力、ご支援のほどお願い申し上げます。

せきれい



成果は出ないが、主に戦前・占領期の日本の性教育の歴史を研究している。そんな私が現代に目を向けると、昔MeToo運動の影響か日本でも「性」に関して歴史的な変化が起きつつあるように感じる。そのひとつが芸能事務所社長（故人）による男性アイドル達への長年にわたる性虐待に対する日本社会の反応である。

芸能事務所社長と所属タレントという絶対的な主従関係があれば、タレント側が成人していたとしても、逆らえないことは想像に難くない。未成年ならなおさらで、この性虐待事件は「グルーミング」（未成年の被害者を手なづけ、信用させ、操ること）による犯行だと指摘されている。日本では性被害に遭った者を責める傾向があるが、加害者に従わざるを得ない状況に置かれたら、回避することは難しい。この事件で「グルーミング」の手口に警戒感を持つ人が増え、被害を未然に防ぐことにつながって欲しい。

発覚がBBCの告発だった点は情けないが、とにかく被害者の救済が急がれる。二〇一七年の刑法改正で「強姦罪」（二〇二三年の改正で「不同意性交罪」：他にも重要な改正点有り）の被害者に男

性が含まれるようになって既に六年。被害者を守る社会に変わることを期待している。

山形県立米沢女子短期大学

国語国文学科 准教授 村瀬 桃子

前期に一回教養ゼミの一環で、一年生十数名と近隣の学童にお話をさせて頂いています。学生は事前にグループ活動でお話と小道具を作成します。当日は作成したお話と一人一冊絵本をよみ聞かせします。コロナ禍以前は対面で行っていましたが、令和二年からは感染予防のため、リモートにてオリジナルのお話のみオンラインで行うことになりました。

リモートの良さを振り返ると、学生側は移動の手間がないこと、オンライン配信を行う経験になることなどが挙げられます。画面の先にいる児童にとっても、画面を通してお話にワクワクする様子でした。

しかし、対面時は、学生と小学生が空いた時間におしゃべりをする様子も見られていたため、画面越しの交流の「無駄のなさ」に少々物足りなさを感じていました。今回四年ぶりとなる対面交流。

お話会のおしめいは、見慣れた画面越しの「バイバイ」に替わり、小学生の方から、学生へ自然発生的に感謝のハイタッチとなった光景に、また一つ日常が戻ってきた喜びと今回のお話会の楽しさが伝わってきました。喜びや学びの機会を沢山得る今年度になりますように。

山形県立米沢女子短期大学

国語国文学科 准教授 北口 津子



ごあいさつ

山形県公立大学法人 理事長
山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学

学 長 阿 部 宏 慈

教育振興会の皆様には、日頃より山形県立米沢栄養大学および山形県立米沢女子短期大学の教育、運営にご支援をたまわり、心より御礼申し上げます。

さて、本年の両大学の状況ですが、米沢栄養大学では四三名の、米沢女子短期大学では二五四名の新入生を迎え、四月五日に、無事入学式を挙行することができました。保護者の皆様にも、会場で新入生の晴れ姿をご覧いただけただけことは、幸いでした。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが五類に移行し、大学の授業や実習なども基本的にコロナ前とほぼ同じ体制で実施されることとなりました。大学構内には学生たちの明るい声が響きわたる日常が戻ってまいりました。私自身も、学生の皆さんと授業の様子やイベントへの期待などを話し合ったり、あるいは実習で実際に学生さんが作ったメニューを試食したりと、直接的な交流を楽しんでおります。

また、教育振興会総会も対面で開催され、役員の皆様と直接お会いできたことは、実に幸いなことでした。振興会様からは学生の学びや日常活動に欠かせないさまざまな設備、図書などの支援をいただいております。特に学生の将来にとってきわめて重要なキャリア支援のための活動にもご協力いただき

き、あらためて深く感謝申し上げます。

今年度の入学生で言えば、栄養大学の入学生のうち県内出身者が五十%を超え、県立大学としては大変うれいところですね。また、県内の病院との連携事業や、自治体特に米沢市との連携事業も注目を集めています。今後ともぜひ本学の存在感を高めるべく、広報に努めていきたいと考えています。

短期大学の方も、実践的な科目を数多く配置して、TOEIC等の検定試験への対策はもちろん、教職免許の基礎的な科目や司書資格あるいは学芸員資格などの取得に向けての準備も、しっかり補助させていただいております。さらに、四年制大学への編入学についても指導に力を注ぎ、昨年度も七十人の学生が四年制大学への編入を果たしました。

両大学の学生たちに対しては、地域住民の方からのサポートも厚く、地元根差す大学短大として市民に愛される存在であるのだと痛感する日々です。これからも教職員一同、安心して勉学に励める環境づくりに心掛けてまいります。引き続き本学の教育活動をお見守りいただければ幸いです。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

新入生の声

山形県立米沢栄養大学

健康栄養学部 健康栄養学科

一年 斎藤 莉愛

これからの大学生活への期待と不安を胸に、緊張しながら迎えた入学式から早三か月が経ちました。新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き始め、当たり前の日常へと少しずつ戻ってきているように思います。

大学は高校とは違い、学習面や学校生活において自ら考え、主体的に行動することが重要だと感じました。将来に向けた専門的な学びや社会人になるための教養など、多くのことを学べる環境、同じ夢を目指す仲間と過ごす時間に大きな充実感を得ています。

私はこの四年間でより専門的な学びを深め、地域に根差した管理栄養士になりたいと考えています。また、ボランティア活動などにも積極的に参加し、社会の課題解決や今の自分に何ができるのかを模索していきます、人間性を高めていきたいです。

米沢栄養大生としての誇りを持ち、積極的に学ぶ姿勢を忘れず、日々精進してまいります。

山形県立米沢女子短期大学

国語国文学科

一年 青木 蒼空

これから始まる大学生活への希望を胸に、山形県立米沢女子短期大学に入学してから約四か月が経過いたしました。新型コロナウイルスに関する制限も緩和され、入学式の翌日には無事に研修旅行に行くことができました。研修旅行実施のためにご尽力いただいた先生方をはじめ、関係者の皆様から御礼申し上げます。当初は初めて経験することばかりで、慌ただしい日々を送っていましたが、現在は、授業や新しい環境にも慣れてきて、共に学ぶ仲間と充実した短大生活を送っています。

私はこの二年間で司書資格の取得を目指しています。そのために、毎日の授業で必要な知識を確実に身に付けるとともに、気になったことを自分から調べるなど主体的な学びを行い、より多くの力を身につける努力をしています。

玄関前から仰ぎ見る満開桜と城下町を造る起点となった兜山

日々の努力の積み重ねを大切に頑張っています。また、今しかない米短での学びや生活を存分に楽しみ、さらに充実した短大生活を送りたいと思います。

令和4年度 山形県公立大学法人教育振興会 一般会計収支決算(表2)

〈収入の部〉

単位:円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
会費		14,570,000	14,450,000	△120,000	
	会費	6,920,000	6,825,000	△95,000	栄養大(1~4年):@10,000×174名 短大(1、2年):@10,000×505名 過年度分@10,000×4名 返金(後期分)@△5,000×1名
	入会金	7,650,000	7,625,000	△25,000	@25,000×303名(栄45、短258) 過年度@25,000×2名
保険料		720,000	756,671	36,671	職員の保険料個人負担分
前年度繰越金		3,498,366	3,498,366	0	令和3年度からの繰越金
諸収入		634	48	△586	預金利子等
合計		18,789,000	18,705,085	△83,915	

〈支出の部〉

単位:円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
運営総務費		3,570,000	3,652,947	82,947	
	会議費	70,000	14,700	△55,300	総会・理事会等
	職員費	2,750,000	3,039,323	289,323	職員(書記)賃金等
	旅費	100,000	44,000	△56,000	監査・総会・理事会出席旅費
	需用費	50,000	660	△49,340	事務用品等
	会報発行費	450,000	460,528	10,528	会報の発行及び郵送料
	総務諸費	150,000	93,736	△56,264	振込手数料等
教育振興費		10,300,000	8,809,651	△1,490,349	
	進路支援費	6,400,000	6,350,011	△49,989	キャリア支援講座、就職支援員の配置等
	教務補助費	1,200,000	1,000,310	△199,690	賠償責任保険、実習関係助成等
	学生自治会費	800,000	800,000	0	大学祭への助成
	教育振興諸費	1,900,000	659,330	△1,240,670	卒業記念品関係、パス回数券購入助成等
体育協力費		150,000	0	△150,000	
	総体参加費	150,000	0	△150,000	選手参加旅費支援
	総体参加諸費	0	0	0	
大学活性化対策支援費		510,000	121,410	△388,590	
	入試等支援	310,000	14,480	△295,520	オープンキャンパス開催支援
	広報・公聴支援	200,000	106,930	△93,070	学園都市推進協議会、広告料等
特別会計繰出金		4,159,000	4,159,000	0	
予備費		100,000	0	△100,000	
	予備費	100,000	0	△100,000	
合計		18,789,000	16,743,008	△2,045,992	

(収入合計) - (支出合計) 18,705,085円 - 16,743,008円 = 1,962,077円(令和5年度へ繰越)

令和4年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(施設拡充費)収支決算(表3)

〈収入の部〉

単位:円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
施設拡充費		3,510,000	3,490,000	△20,000	
	施設拡充費	3,510,000	3,490,000	△20,000	短大施設拡充寄附金@10,000×258名 栄大施設拡充寄附金@20,000×45名 過年度未納者分@10,000×1名
繰入金		4,159,000	4,159,000	0	
	一般会計繰入金	4,159,000	4,159,000	0	
	積立金繰入金	0	0	0	
繰越金		799,578	799,578	0	
	前年度繰越金	799,578	799,578	0	令和3年度からの繰越金
諸収入		422	16	△406	
	雑入金	422	16	△406	預金利子等
合計		8,469,000	8,448,594	△20,406	

〈支出の部〉

単位:円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
大学整備費		8,169,000	7,576,284	△592,716	
	整備拡充費	1,200,000	1,151,826	△48,174	学内WiFi設置、屋外防犯カメラ設置
	環境整備費	1,540,000	1,224,586	△315,414	トレーニング機器リース(一部更新) 学内樹木雪囲い等
	図書整備拡充費	4,929,000	4,727,099	△201,901	学生希望図書、電子書籍等
	記念資料室整備充実費	500,000	472,773	△27,227	企画展運営及び資料整理経費等
積立金		0	0	0	
	積立金	0	0	0	
予備費		300,000	0	△300,000	
	予備費	300,000	0	△300,000	
合計		8,469,000	7,576,284	△892,716	

(収入合計) - (支出合計) 8,448,594円 - 7,576,284円 = 872,310円(令和5年度へ繰越)

令和4年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(積立金)収支決算書(表4)

単位:円

科目	期首残高	期中積立額	期中取崩額	期末残高	摘要
積立金	12,411,798	203	0	12,412,001	市内の金融機関4行に定期預金として預入
		{新規積立 0円 利息 203円}			

監査報告書

令和4年度山形県公立大学法人教育振興会の会計監査を実施したところ、業務、帳簿・証拠書類等適正に執行されていたことを報告いたします。

令和5年6月22日

山形県公立大学法人教育振興会

監事 鈴木芳之

監事 佐々木紀一

監事 横山智子

令和4年度 山形県公立大学法人教育振興会 奨学金貸付特別会計収支決算(表5)

〈収入の部〉

単位:円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
繰入金		0	0	0	
	繰入金	0	0	0	
繰越金		4,497,630	4,497,630	0	
	前年度繰越金	4,497,630	4,497,630	0	令和3年度からの繰越金
貸付金回収収入		0	100,000	100,000	
	奨学金回収収入	0	100,000	100,000	1名から回収(繰上償還)
合計		4,497,630	4,597,630	100,000	

〈支出の部〉

単位:円

大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘要
貸付金		3,600,000	100,000	△3,500,000	
	奨学金貸付金	3,600,000	100,000	△3,500,000	1名に貸付
事務費		300,000	0	△300,000	
	事務費	300,000	0	△300,000	
予備費		597,630	0	△597,630	
	予備費	597,630	0	△597,630	
合計		4,497,630	100,000	△4,397,630	

(収入合計) - (支出合計) 4,597,630円 - 100,000円 = 4,497,630円(令和5年度へ繰越)

令和5年度 山形県公立大学法人教育振興会 事業計画 (案) (表6)

- 1 事業等

(1) 就職・編入学支援関係事業

 - ・就職支援員の配置
 - ・就職・編入学対策講座等の開設支援(講座の講師謝金負担等)
 - ・就職・編入学、国家試験(管理栄養士)関連図書を購入

(2) 学生への助成

 - ・各種試験(公務員模試、資格取得(TOEIC、日商PC検定、情報処理技術者、日商簿記、ピアヘルパー認定)受験への助成
 - ・スポーツ大会(全国・東北)への参加経費への助成

(3) オープンキャンパス開催への支援

 - 参加生徒との交流(懇談)にかかる経費の支出
 - ・短期大学オープンキャンパス 7月29日(出)及び7月30日(回)
- ・栄養大学オープンキャンパス 8月5日(出)及び8月6日(回)

(4) 教育振興会会報の発行 年3回発行

※各大学のLINEで行事等の情報を提供



米沢女子短期大学
LINE公式
アカウント



米沢栄養大学
LINE公式
アカウント

(5) 図書の購入、施設整備

 - ①学生及び学科の希望する図書の購入
 - ②学生の教育環境や学生生活の充実に必要な施設等の整備
 - ・食堂のティーサーバー更新(リース)
 - ・学内WiFi設置(A号館情報処理教室、B号館201教室)
- ・屋外防犯カメラ設置(栄養大1台)
 - ・学内樹木の管理 等

(6) 広報事業 新聞等への大学のPR広告掲載を実施 など

(7) その他

 - ①入学者への携帯用防犯ブザー等の配布
 - ②学生教育研究災害保険付帯賠償責任保険への加入
 - ③学生自治会への助成(吾妻祭)
- 2 会議等

(1) 理事会の開催

(2) 総会の開催

 - ※新型コロナウイルス感染症対策のため、入学式を簡略化して開催したことから、通常入学式時に実施している入会式は中止。

令和5年度 山形県公立大学法人教育振興会 一般会計収支予算(案) (表7)

〈収入の部〉					単位：円	
大科目	小科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要	
会費	費	14,345,000	14,570,000	△225,000		
	会費金	6,920,000	6,920,000	0	@10,000×174名(栄養大) @10,000×518名(短大)	
保険	会費金	7,425,000	7,650,000	△225,000	@25,000×297名(栄43・短254)※入学生のみ	
	料	760,000	720,000	40,000	職員の保険料個人負担分	
前年度繰越金		1,962,077	3,498,366	△1,536,289	令和4年度からの繰越金	
諸収入		923	634	289	預金利子等	
合計		17,068,000	18,789,000	△1,721,000		
〈支出の部〉					単位：円	
大科目	小科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要	
運営総務費	費	3,860,000	3,570,000	290,000		
	会議費	20,000	70,000	△50,000	総会・理事会等	
	職員費	3,100,000	2,750,000	350,000	書記賃金等	
	旅費	80,000	100,000	△20,000	会議等	
	需用費	10,000	50,000	△40,000	事務用品、印刷経費等	
	会報発行費	530,000	450,000	80,000	会報の発行及び郵送料	
	総務諸費	120,000	150,000	△30,000	振込手数料等	
教育振興費	費	10,100,000	10,300,000	△200,000		
	進路支援費	6,500,000	6,400,000	100,000	就職支援員の配置、キャリア支援講座等	
	教務補導費	1,100,000	1,200,000	△100,000	学生の保険加入、学生相談経費等	
	学生自治会費	800,000	800,000	0	自治会活動(大学祭)補助	
	教育振興諸費	1,700,000	1,900,000	△200,000	入学・卒業式支援等	
体育協力費	費	200,000	150,000	50,000		
	総体参加費	200,000	150,000	50,000	参加料・選手参加旅費	
大学活性化対策支援費	総体参加諸費	0	0	0	東北地区体育連盟脱退のため	
	費	480,000	510,000	△30,000		
	入試支援	310,000	310,000	0	オープンキャンパス開催支援等	
	広報・公聴支援	170,000	200,000	△30,000	学園都市推進協議会、広告掲載等	
特別会計繰出金		2,328,000	4,159,000	△1,831,000		
予備費		100,000	100,000	0		
予備費		100,000	100,000	0		
合計		17,068,000	18,789,000	△1,721,000		

令和5年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(施設拡充費)収支予算(案) (表8)

〈収入の部〉					単位：円	
大科目	小科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要	
施設拡充費	費	3,400,000	3,510,000	△110,000		
	施設拡充費	3,400,000	3,510,000	△110,000	@20,000×43名(栄養大) @10,000×254名(短大)	
繰入金	費	3,744,000	4,159,000	△415,000		
	一般会計繰入金	2,328,000	4,159,000	△1,831,000		
繰越金	積立金繰入金	1,416,000	0	1,416,000		
	費	872,310	799,578	72,732		
諸収入	前年度繰越金	872,310	799,578	72,732	令和4年度からの繰越金	
	雑入金	690	422	268		
合計		8,017,000	8,469,000	△452,000	預金利子等	
〈支出の部〉					単位：円	
大科目	小科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要	
大学整備費	費	7,917,000	8,169,000	△252,000		
	整備拡充費	600,000	1,200,000	△600,000	学内WiFi設置、屋外防犯カメラ設置	
	環境整備費	1,660,000	1,540,000	120,000	トレーニング機器リース、ティーサーバー更新、学内樹木雪囲い等	
	図書整備拡充費	5,157,000	4,929,000	228,000	学生希望図書、電子書籍等	
	記念資料室整備充実費	500,000	500,000	0	企画展運営及び資料整理経費等	
積立金	積立金	0	0	0		
予備費		100,000	300,000	△200,000		
予備費		100,000	300,000	△200,000		
合計		8,017,000	8,469,000	△452,000		

令和5年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(積立金)収支予算(案) (表9)

単位：円					摘要	
科目	期首残高	期中積立額	期中取崩額	期末残高		
積立金	12,412,001	0	1,416,000	10,996,001	市内の金融機関4行に定期預金として預入	

令和5年度 山形県公立大学法人教育振興会 奨学金貸付特別会計収支予算(案) (表10)

〈収入の部〉					単位：円	
大科目	小科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要	
繰入金	金	0	0	0		
	繰入金	0	0	0		
繰越金	金	4,497,630	4,497,630	0		
	前年度繰越金	4,497,630	4,497,630	0	令和4年度からの繰越金	
貸付金回収収入	金	0	0	0		
	奨学金回収収入	0	0	0		
合計	計	4,497,630	4,497,630	0		
〈支出の部〉					単位：円	
大科目	小科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要	
貸付金	金	3,600,000	3,600,000	0		
	奨学金貸付金	3,600,000	3,600,000	0	60万円(限度額)×6名	
事務費	費	300,000	300,000	0		
	事務費	300,000	300,000	0	切手、郵送料等	
予備費	費	597,630	597,630	0		
	予備費	597,630	597,630	0		
合計	計	4,497,630	4,497,630	0		

米沢駅前「映えcafé」 オープンプロジェクトに取り組んでいます

学生は大学と自宅の往復が中心で、米沢市の良さを知る機会が少ないことから、このたび、米沢市の補助金を活用し、米沢駅を中心に街中を探索し、地域住民や行政担当者との対話や協働を通して、米沢市の良さを知るとともに、地域と連携し、将来的に米沢駅前に若者が集うカフェのオープンにつなげるプロジェクトに学生たちが取り組むこととなりました。

五月三十一日には、米沢市駅二階のワークスペースで山形県的小林総務部長によるワークショップを開催するとともに、米沢市駅前のフィールドワークを実施しました。

今後も継続的に取り組みを進め、年度末には事業成果の報告を行う予定です。



オープンキャンパスが開催されました！

米沢女子短期大学では七月二十九日(土)、七月三十日(日)の両日、米沢栄養大学では八月五日(土)、八月六日(日)の両日、オープンキャンパスを開催しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが五類感染症となったことから、人数制限のない中での開催となりました。

両大学合わせて八二名の高校生、保護者の方々が参加され、教育内容や取得できる資格、卒業後の進路、学生生活等の説明に熱心に聞き入っていました。また、新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年は十分に実施できなかった在学生との交流会も開催され、在学生との交流を楽しんでいただきました。



先輩からのメッセージ

編入学



長野大学 社会福祉学部
福祉心理コース三年
社会情報学科卒業 渡部 夕夏

私は米短入学当初から、「心理学を学べる四年制大学へ編入したい」という進路の希望を持っていました。しかし編入試験対策の勉強に本腰を入れたのはかなり遅く、二年の夏が過ぎてからでしたが、常に相談に乗ってくくださった先生の励ましや、キャリア支援センターの先生方の指導、温かいお言葉のおかげでなんとか踏ん張り、今の大学に編入学することが出来ました。先生方のおかげで今の私が在ると感じ、とても感謝しています。

編入して約三か月半が過ぎて今思うことは、「編入学試験合格がゴールではない」ということです。米短卒業後も勿論人生は続いていきます。大人になってゆくに連れ、辛く苦しいこと、迷い、変われない自分への苛立ち、どうしようも無いことに突き当たり、自分の無力さを感じる場面が増えていきます。そんな時折れそうな心の支えとなるのは、家族や友人だけでなく、「自分の好きなこと」ともとても大きい私は思います。私の場合、その大きな一つが「心理学」です。短大時代、好きなことを育むこと、趣味を思い切り楽しむことも、とても大事だと思えます(編入後は忙しいので覚悟が必要ですが)。皆さんが、楽しく豊かな人生を歩めるよう祈っています。

就職



積水ハウス株式会社
国語国文学科卒業
土赤 颯乃

就活で大事な事は、企業探しの軸を定めることだと考えます。私が就活を始めた短大一年生の一月頃は就きたい職業が見つからずとても不安でしたが、キャリアについて講義を受けていく内に、「就きたい職業」ではなく「働きたい」を軸に企業を探し、視野に入れ始めました。これから様々なライフイベントを経験することを踏まえ、長くキャリアを積める職場が理想だと考えました。その為、面接の際は必ず有給消化率をはじめ福利厚生について質問し、同時に会社HPを閲覧し、社員の働きやすさのために企業がどんな取り組みをしているか確認しました。

二年生の六月頃、学内の合説に参加した際に積水ハウス(株)は「えるほし」や「くるみん」等厚生労働省からの認定を受けていると聞きしました。ご説明の中でも女性の働きやすさについて真剣に取り組んでいる事に非常に好感を持ち、そのまま選考に進み、幸いにも内定をいただく事が出来ました。就活は、今まで自分がどんなことを体験してきたのか、これからどんな人生を歩んでいきたいかを考える非常に重要なイベントだと思います。就活は楽しい事はかなり多く辛い事も多いですが、将来の自分が納得できる選択になるよう皆さん最後まで諦めないでいただきたいです。

就職



福島県地方公務局白河支局
英語国文学科卒業
鈴木万柚子

入局してから約四ヶ月が経ちました。日々学ぶことが多いですが、職場の雰囲気や仕事にも慣れ充実した毎日を送っています。

私は米沢女子短期大学に入学した頃から漠然と公務員になりたいと考えていました。しかし一年生の後期頃、ガイダンスや勉強会などに参加すると、周りの人達が受験先を決め始めていることに焦りを感じ、ホームページなどから資料を取り寄せたり、先生方や家族、友人に相談をしたりして受験先を決めました。当初は地方公務員を目指していましたが一次試験に合格することができず、一次試験に合格していた国家公務員にすぐ切り替え、官庁訪問や面接の練習等を行いました。国家公務員の試験は一次・二次試験だけでなく、その後官庁ごとにも試験があり、忍耐力を求められる試験でした。その中でいくつか内定をいただきましたが、職場の雰囲気や仕事内容に魅力を感じた法務局を最終的に選びました。私は自分が魅力を感じる、なにか惹かれるという感性から仕事を選びましたが、現在仕事を始めてその感性は間違っていなかったと感じています。受験は忍耐力が必要で、一人で抱え込まず周りの人達を頼って自分が興味のあること、やりがいを感じられる仕事に出会えることを陰ながら応援しています。

就職



山形県立中央病院 栄養管理室 管理栄養士
山形県立米沢栄養大学 健康栄養学科卒業
健康栄養学科卒業 高村ちひろ

就職から四ヶ月が経ち、徐々に業務内容や職場の雰囲気に慣れてきました。現在は、栄養指導や担当病棟の食事調整など主に栄養管理業務をさせていただいています。

私は在学時から病院で働きたいと思い、県立四病院との連携事業への参加、病院見学を行い、病院で働くことの具体的なイメージを持つことを大切にしてきました。その中でも、病院での臨床実習では実際に病院で働く管理栄養士の方々の様子を知ることができ、就職活動中はもちろん働き始めてからも役に立つことばかりだったように思います。病院に限らず在学中は、調べたり聞いたりしたことからイメージするしかないことばかりです。働き始めてから「思っていたところと違った。自分のやりたかったことができない。」となることがないよう、自分の考えと実際の現場のギャップを埋めることも就職活動をする上では、大切なことのように思います。新型コロナウイルスによる制限が緩和されたとはいえ、以前のようにはいかないこともまだまだありますが、ここでの頑張りが必要就職してから強みになります。自分が一番大切にしたいことは何かをよく考え、なりたい自分に近づける決断ができるよう陰ながら応援しています。

コロナ禍後の 学生生活

山形県立米沢栄養大学

健康栄養学部 健康栄養学科

教授 安部 貴洋

栄養大では学年担任による個人面談を行っている。内容は学年や時期によって異なるのだが、一時に四十数名の学生と向かい合うことの困難さとともに、授業では見ることのできない学生の表情や、面談を重ねることで学生の成長に出会える豊かな時間ともなっている。

今年の一年生も七月二十四日から面談を行っている。一年生は高校生活の多くをコロナ禍で過ごしている。それでも学びつづけてきたことへの敬意と、コロナ禍後の大学生活への一歩を後押しできるよう、そんな面談を心がけている。

山形県立米沢栄養大学

健康栄養学部 健康栄養学科

教授 北林 蒔子

昨年度までは、密を避けるために、二クラスに分かれたり、いろいろな制限の中で授業を実施していましたが、今年度からはやっとコロナ前の形態で授業が行われています。入学後数カ月たって個人面談を実施しておりますが、学生が充実した大学生生活を送っているようで安心したところです。手洗い、う

がい、マスクと感染防止を心がける必要はありそうですが、かけがえない大学生活を十分に楽しんでもほしいと願っております。

山形県立米沢女子短期大学

国語国文学科

教授 佐々木紀一

入学式の翌日、オリエンテーション初日の午後出発という、これまで前代未聞の日程で、研修旅行を組み、いささか不安もございましたが、入学式前にすでに研修旅行の問い合わせが多く来ているとも聞き、学生と保護者の意気込みも感じておりました。

さて研修旅行中も、コロナ下の人間関係の希薄さを取り戻すように、学生の積極性が例年になく感じられ、頼もしかったです。現在は半分、落ち着き、例年らしさが戻った印象です。マスクで熱中症気をつけてね。

山形県立米沢女子短期大学

国語国文学科

准教授 後藤 和也

この五月に新型コロナウイルス感染症は五類感染症に位置付けられました。その後の夏の猛暑の影響もあるのか、前期末には学内外で、マスクを外した素顔を拝見する機会も増えたように感じます。コロナ慣れなのかアフターコロナなのか、兎に角コロナ以前の日常生活に戻りつ

つあるのかもしれませんが。

四月には久方ぶりの研修旅行も実施され、担当するキャリア支援科目ではグループワークも再開しました。この調子で、前向きな米短生活を過ごされますよう、切望してやみません。

山形県立米沢女子短期大学

英語英文学科

教授 渡邊真由美

ここ数年間続いたコロナ禍での学校生活は、マスクを常につけていることが求められてきました。教員としては、なんともやりにくい場面に度々遭遇しました。授業中に学生が理解したのかどうか、顔を見ればなんとなく伝わってくるものですが、それが分からない。そもそも、顔の表面積の大部分を覆ってしまうマスクによって、顔そのものがわからないのだから、どうにもなりません。今年度からはちらほら授業中にマスクを外している学生も出てくるようになって、なんとなくホッとしています。今後は各人がそれぞれの考えや健康状態に沿っての対策となるでしょうが、表情を晒す、ということの大切さを頭の片隅に置いて学生生活を楽しんでもらいたいと思います。

山形県立米沢女子短期大学

日本史学科

教授 布施 賢治

コロナの流行も終息した。も

しかししたら、それは表面的なことと一時的なことかもしれない。しかし、学生、教職員には、よし頑張るぞ、という明るい希望が醸成されている。そのような新たな気運のもと、五三名の新入生が日本史学科に入学した。

四月の新入生研修旅行は蔵王から山寺そして紅花資料館を見学し充実したものとなった。二年生もゼミにサークル、そして各自の進路にと日々励んでいる。これからぜひとも、米短・栄養大関係者みんなの力を結集し、コロナ禍前よりもさらに、活気に満ちた、米短・栄養大を作り上げていきたい。

山形県立米沢女子短期大学

社会情報学科

教授 小池 隆太

学生たちが自ら制作した動画やイラストを課題制作や課外活動などの何気ない局面で活用・共有しているのを見ると、メディア活用能力の向上とその社会生活への反映が窺えます。技術・スキルの次元から、「デジタル・シティズンシップ」(情報技術の利用に関する適切で責任ある行為規範)の次元へと、社会は否が応でもシフトアップさせられたのです。同時に、「対面」を大事にする切実さを感じることがあります。ここまでに乗り越えてきた波の大きさが痛感されます。

『輝く県民活躍大賞』若者部門 受賞と活動について

ポランティアサークルポプラ代表
英語英文学科二年 佐々木彩夏

ポランティアサークルポプラは「最上川源流よねざわ紅花プロジェクト」の一員として、去年に引き続き活動し、山形県より『輝く県民活躍大賞』若者部門をいただきました。紅花の種まきや草取りなど紅花栽培のお手伝いを通して紅花の魅力を感じ、「よねざわ紅花祭り(七月十六日)」ではその魅力を楽しみ知っていただけでなく、初の試みとして「紅花ペーパークラフト」体験コーナーを設置しました。当日は期待と不安、緊張もありましたが、当日に向け準備や練習をしつかりと協力して行い、無事成功を収めることができました。参加いただいた方々から「きれいだね」「すごい」「ありがとう」など心に響くお声を頂き頑張ったよかったと思えました。

私達はよねざわ紅花祭りやなせばなる秋祭りに参加する他、献血のポランティアアスタツフ、芋煮会や謝恩会など通町地区の地域の方々との交流会への参加等幅広く活動しています。平成二十四年から続く「ポプラ」はこれからも学生の目線で地域の魅力を発見し、それを発信できるように活動していきます。



七月十六日にYBC山形放送「やまがたサタデー」で「ポプラ」が紹介されました

